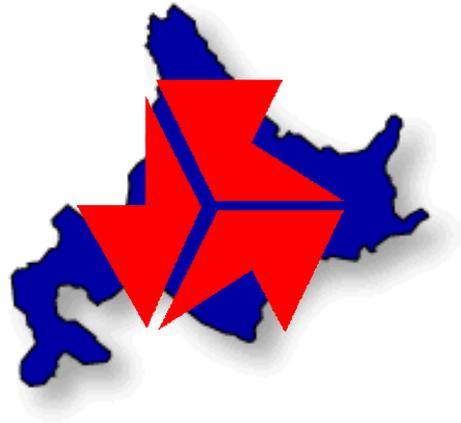


令和4年度

第1回北海道高体連サッカー専門委員会

資 料

(室蘭支部報告)



1 2022年度北海道高体連サッカー専門部体制

令和4年度 道高体連専門委員一覧

専門部名	サッカー
------	------

記載者	田中弘道
-----	------

役職名	氏名	学校名
部長	天野 慎也	深川 東
副部長	田中 弘道	札幌 北陵
委員	沖野 大志	札幌 白石
副委員	田島 剛	札幌 東陵
副委員	河津 良多	室蘭 清水丘
札幌	早坂 範之	札幌 丘珠
函館	伊藤 烈	函館 中部
室蘭	舟田 彩一朗	浦河
小樽	池田 裕哉	岩内
空知	小田 能史	岩見 沢 緑 陵
旭川	石尾 浩一	旭川 東
名寄	林 亮輔	稚内
北見	鞠 古拓宏	遠軽
十勝	加藤 武志	芽室
釧路	荒 嘉律	釧路 明輝
部長指名専門委員		
副部長	田中 弘道	札幌 北陵
委員	沖野 大志	札幌 白石
副委員	田島 剛	札幌 東陵
副委員	河津 良多	室蘭 清水丘
技術委員	鈴木 聖也	札幌 大谷
審判委員	宮 武宏行	小樽 未来創造
女子責任者	小野 倫	旭川 南

2 高校総体、全道予定・参加枠について

高校総体、当番支部・当番校

年度	支部・当番校	年度	支部・当番校	年度	支部・当番校	年度	支部・当番校
4	オホーツク	5	札幌	6	名寄	7	旭川
	網走南ヶ丘		札幌英藍		稚内		未定
8	釧路	9		10		11	
	釧路明輝 調整中						

R4年度、全道大会参加枠について

R4はプレミア参加なし。下記の基準の支部枠※22+当番支部枠1の23チームになり、1枠を支部枠として追加して24チームで実施する。
この場合、表1の【割当校(A)】÷【支部枠(B)】の数値が最も高い支部に追加するが、オホーツクと釧根が同数値になるので、表2のように過去2カ年の予選参加数で算出すると釧根が最も高い支部になり、R4は釧根の支部枠を+1とする。

※基準の支部枠は直近3カ年の支部予選参加数から算出される

《表1》 直近3カ年で計算

令和4年度高校総体全道大会参加枠(男子)

		函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	十勝	オホーツク	釧根	計
支部	H30	17	21	9	61	10	16	8	17	12	11	182
	R1	16	19	8	60	8	16	7	18	11	10	173
	R3	15	19	6	59	7	15	6	16	10	12	165
	平均	16	19.667	7.67	60	8.3333	15.667	7	17	11	11	173.3
	予選割合	9.23	11.35	4.42	34.62	4.81	9.04	4.04	9.81	6.35	6.35	100.0
全道	H30	2	3	1	7	1	2	1	2	2	2	23.00
	R1	2	3	1	7	1	2	1	2	2	2	23.00
	R3	2	3	1	8	1	2	1	2	2	1	23.00
	平均	2	3	1	7.3333	1	2	1	2	2	1.6667	23.00
割当校(A)	2.12	2.61	1.02	7.96	1.11	2.08	0.93	2.26	1.46	1.46		
支部枠(B)	2	3	1	8	1	2	1	2	1	1	22.00	
A/B	1.062	0.870	1.017	0.995	1.106	1.039	0.929	1.128	1.460	1.460		
+α支部									1			
支部総数	2	3	1	8	1	2	1	2	2	1	23.00	

《表2》 直近2カ年で計算

令和4年度高校総体全道大会参加枠(男子)

		函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	十勝	オホーツク	釧根	計
支部	R1	16	19	8	60	8	16	7	18	11	10	173
	R3	15	19	6	59	7	15	6	16	10	12	165
	平均	15.5	19	7.00	59.5	7.5	15.5	6.5	17	10.5	11	169.0
	予選割合	9.17	11.24	4.14	35.21	4.44	9.17	3.85	10.06	6.21	6.51	100.0
全道	R1	2	3	1	7	1	2	1	2	2	2	23.00
	R3	2	3	1	8	1	2	1	2	2	1	23.00
	平均	2	3	1	7.5	1	2	1	2	2	1.5	23.00
割当校(A)	2.11	2.59	0.95	8.10	1.02	2.11	0.88	2.31	1.43	1.50		
支部枠(B)	2	3	1	8	1	2	1	2	1	1	22.00	
A/B	1.055	0.862	0.953	1.012	1.021	1.055	0.885	1.157	1.429	1.497		
+α支部									1	1		
支部総数	2	3	1	8	1	2	1	2	2	2	24.00	

R4高体連全道大会のレギュレーションについて

1 前年度からの変更点

(1) 登録選手人数を20名から25名に変更。

(2) 全道の支部枠 釧根1→2

2 検討・協議事項

(1) 前年度総体3位支部代表校の第3・第4シードの位置の決め方

《検討》①前年度優勝支部に負けた3位支部を第3シードとする

②抽選によって決める

⇒《提案》「抽選によって決める」

⇒《決定》「抽選によって決める」

男子												女子																																															
																								第1シード	第2シード	第3シード	第4シード	第3シード	第4シード	第1シード	第2シード	第3シード	第4シード	第3シード	第4シード																								
																								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
																								[男子]												[女子]																							
第1シード：前年度総体 優勝旭川支部												第1シード：前年度総体 優勝支部																																															
第2シード： 準優勝札幌支部												第2シード： // 準優勝支部																																															
第3シード： // 3位札幌支部																																																											
第4シード： // 3位十勝支部																																																											
(2) 競技上・運営上の注意事項 . . . 資料P21～P24																																																											
①試合前のマッチミーティングの開始時間 → 80分前で試行																																																											
②試合開始前の集合時間 → 8分前から6分前に変更																																																											
③感染症対策に係る飲水タイム → 飲水タイムはとらない(クーリングブレイクは別)																																																											
(3) サポートメンバー																																																											
各チーム5名以内のサポートメンバーを帯同させる。																																																											
昨年度 . . . [登録選手 20名 + サポートメンバー 10名]																																																											
試合の補助、新型コロナによる選手の入替え等を考慮してサポートメンバー帯同を定めた。																																																											
今年度 . . . [選手登録 25名 + サポートメンバー 5名]																																																											
ベンチ入りしない選手による試合のサポートは可能																																																											
選手の入替えは新型コロナの感染状況により考慮が必要																																																											

3 全国高校サッカー選手権大会、全道予定・全国101回大会について

全道高校サッカー選手権、当番地区協会

年度	地区	年度	地区	年度	地区	年度	地区
4	旭川	5		6		7	

全道高校女子サッカー選手権、当番地区協会

年度	地区	年度	地区	年度	地区	年度	地区
4	室蘭	5	千歳	6	十勝	7	函館

全国101回大会について

(1) 日程

- ①地区大会締め切り - 11月20日(日)
- ②組合せ抽選会 - 11月21日(月)日テレ汐留タワー予定

プレミア・プリンスの日程などもあるが、この予定で進む予定。開幕戦の日程については未定。現在、費用の問題もあり赤字運営の予算立てであることを考え、お金の面でやれるかどうかも1つの問題。翌日に開幕式を行い朝から長い時間拘束し、その翌日に試合を行うのが選手のためになっているかどうか。開幕式をなしにスタートする形も考えられるのではないかと。しかし、今回の開幕式は好評であった。選手のために開幕式をやるのも良いのではないかと。もう少し検討し、結論が出たらお知らせする。準々決勝会場は現在未定。

4 全国2種委員長会議報告(抜粋)

(1) 2023年度北海道総体について

お金の問題が大きい。予算の問題をどのようにすればよいか。3,000万円規模の予算だてをしている。暑熱対策について一番かかるのではないかと。暑くなった時にどうするかが一番心配。

競技場についても、老朽化などの問題がある。役員のパロシャツも作れず、Tシャツを選手役員に買ってもらう、そのお金を運営に充てるという状況。

(2) 合同チームインターハイ参加について

令和5年度からの導入に向けた取り組み。各都道府県の現状を情報として集約し、どのような決まりを作っていけばよいか協力をいただくことになると思う。その時にご協力をお願いしたい。先日の各専門部へのアンケートで9割が「賛成・どちらかといえば賛成」と回答。合同チームの参加に関しては選手権も現状はインターハイと同じ規定で実施。

(3) 2種年代ゲーム環境&カレンダーについて

全国選手権からプレミア所属チームが参加してくる、というような情報は、今は無いと捉えておいていただきたい。主に考えておくべきところ(全国の先生方とのすり合わせ)

・連戦を無くすこと

さまざまな制約もあるが、実施できた。インターハイではまだ出来ていないが、MCMのサイクルをしっかりと考えていきたいということが前提にある。

・90分ゲームを当たり前

今の選手権は準決勝から90分で、まだ日常になっていない。しかし、90分でサッカーをやることを当たり前にするために、カレンダーについても整備していただきたい。ただし、暑熱環境下においては例外。1会場で3試合、1つでも多くの90分ゲームを作り出せる環境を。

・オフシーズンを必ず取る

働き方改革なども意識し、プロや二種年代など、どこのカテゴリーにおいてもこれからの若い世代の指導者にとって良い環境でバトンを渡すことができれば。全国一律でオフシーズンを設定することは難しいことも理解している。雪の問題や暑さなど地域の実情に合わせた考え方をすること

ができれば。東京や千葉では長期休暇中に試合をやっていた環境をずらして対応。発想を変えていく。それぞれの県のスケジュールを今まで通りで考えるのではなく、新しい発想を。リーグ戦をやる期間とトーナメントをやる期間で分けていたが、そのような考え方では先に進むことはできない。同時進行でやる。そこにチームとしてどのように参加するのか。

このような考え方をいろいろなところで検討していく。メリットもあればデメリットもある。いろいろな議論をしていただき、進めていきたい。ジャイアントキリングのようなことも醍醐味だが、リーグ戦で拮抗したゲームを増やしていくことが、日本サッカーの成長につながっていくのではないか。新しいものを作るには力が必要だが、発想を新しくし、変えていく方向にベクトルを合わせていきたい。

5 審判部から

- (1) 2021年度フェアプレー賞は札幌大谷高校
- (2) 高体連全道大会派遣審判割当数、室蘭支部は3（別紙参照）
- (3) 今年度の「競技運営上の注意事項」は全道大会、支部予選及び各種大会で運用

6 今年度高体連全道開催支部（オホーツク支部、網走南ヶ丘高校）から

- (1) 開会式について、道高体連からの指示・通達が無ければ、例年通り全チーム・全選手を集めて、大会1日目の朝に開催します。
- (2) 会場について、網走スポーツトレーニングフィールド4面。
- (3) 宿舎について、「北海道ABトリップ」に宿泊・弁当の仲介斡旋を依頼。申込締切日が5月27日（金）となっております。担当者に問い合わせます。

令和 4 年 4 月 1 5 日

各地区サッカー協会 審判委員長 様
各支部高体連 サッカー専門委員 様

北海道高等学校体育連盟サッカー専門部
部 長 天 野 慎 也
委 員 長 沖 野 大 志
審判委員長 宮 武 宏 行
(公財)北海道サッカー協会
2種委員会委員長 荒 忍
審判委員会委員長 柳 元 良 文

令和4年度第75回北海道高等学校サッカー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会
サッカー競技北海道予選会

並びに 第11回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会
サッカー競技北海道予選会にかかわる審判派遣について (お願い)

陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は審判委員会の活動に格別のご
理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の大会が下記の通り開催されます。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが貴地区の2級審判員(上位3級審判員)を派遣していただき
たく宜しくお願い申し上げます。

なお、標記大会につきましては、従前より勤務先等からの旅費支給が無い方については、宿泊費のみ
当番校が負担しており、交通費につきましては所属する地区サッカー協会等にご負担いただいております。
審判員の派遣に係る交通費につきまして、特段なご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 期 日 令和4年6月14日(火)～17日(金) (*6月13日夜 審判会議)
2. 会 場 網走スポーツ・トレーニングフィールド
3. 基準派遣人数

札幌支部(札幌・千歳) 8	名寄支部(道北・宗谷) 3
函館支部(函館) 1	オホーツク支部(ホーツク) 7
室蘭支部(室蘭・苫小牧) 3	十勝支部(十勝) 7
小樽支部(小樽) 2	旭川支部(旭川) 6
釧根支部(釧路・根室) 5	空知支部(空知・北空知) 3

※ 女子2級審判員・地区上位3級審判員可 含む数。()内は地区協会名

4. 報告締切り 令和4年5月29日(日)まで **各支部専門委員が報告**する。
5. 報告先 北海道小樽未来創造高等学校 宮 武 宏 行
エクセルデータで報告をお願いします shibainu2256@dg7.so-net.ne.jp
6. その他
 - ・委嘱状等は直接本人へ当番校から送付します。
 - ・集合日時 6月13日(月)18時(予定)から打合せを行います。
 - ・勤務先などからの宿泊費支給が無い方については、当番校が負担します。

提出期限 5月29日(日)